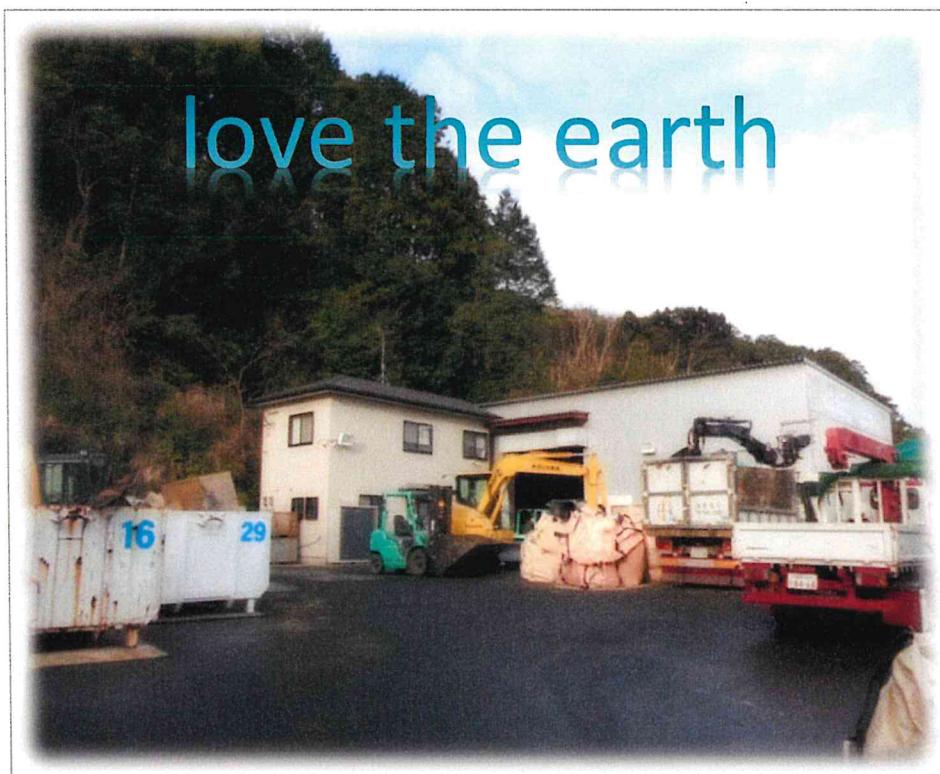


エコアクション21

環境活動レポート

2019年度版

(運用期間:2019年9月～2020年8月)



発行日:2020年10月2日

株式会社 西日本開発

目 次

1. 組織の概要	1
2. 認証・登録の対象範囲	1
3. 環境経営方針	2
4. 環境経営目標	3
5. 環境経営計画	4
6. 環境経営目標の実績	5
7. 環境経営計画の取組結果と その評価、今後の取組内容	6
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価 の結果、並びに違反、訴訟等の有無	8
9. 代表者による全体評価と見直しの結果	8

1. 組織の概要

- 1) 事業所名 株式会社 西日本開発
代表者氏名 代表取締役 岩瀬 敦
- 2) 所在地 本社 〒811-1223 福岡県那珂川市大字上梶原1068-29
- 3) 環境管理責任者
連絡担当者 野中 竜士
連絡先 TEL 092-953-4127 FAX 092-953-4128
Eメールアドレス west-kaihatsu@nifty.com
- 4) 事業の内容 産業廃棄物収集・運搬及び処分業(中間処理)
・産業廃棄物収集・運搬業
福岡県 第04000132198号・佐賀県 第04101132198号
・産業廃棄物処分業 福岡県知事許可 第04020132198号
- URL <https://west-jpd.com/>
- 5) 事業の規模 総売上額: 1,800,000 百万円(2020年度)
- | 区分 | 単位 | 本社 | 資材置き場 | 駐車場 |
|------|----------------|--------|-------|-----|
| 従業員数 | 人 | 11 | 0 | 0 |
| 延床面積 | m ² | 252.44 | 0 | |
- 6) 事業年度 9月～翌年8月

2. 認証・登録の対象範囲

- 1) 対象事業所 本社
- 2) 対象活動 産業廃棄物収集・運搬及び処分

6) 許可の内容

産業廃棄物収集運搬業			許可項目															
都道府県 及び政令 都市	積替 保管	許可の年月日 及び 有効年月日	許可番号	燃 え 殻	汚 泥	廢 油	廢 酸	廢 アル カリ	廢 塑 料 チ ック 類	紙 く ず	木 く ず	繊 維 く ず	動 植 物 性 残 さ	ゴ ム く ず	金 属 く ず	ガ ラ ス く ず	が れ き 類	ば い じ ん
				有	無													
福岡県	●	2016年12月18日 2021年12月17日	第04000132198号	●	●	●				●	●	●	●	●	●	●	●	●
佐賀県	●	2019年12月20日 2024年12月21日	第04101132198号	●	●	●				●	●	●	●	●	●	●	●	●

<事業計画の概要>

許可を受けた産業廃棄物(9種類)について事業者から運搬の委託を受けた場合には、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく契約を締結し、排出業者からマニフェストの交付を受け、指定された許可処分業者の事業場に運搬する。

産業廃棄物処分業			許可項目															
都道府県 及び政令 都市	事業区分	許可の年月日 及び 有効年月日	許可番号	廢 塑 料 チ ック 類	紙 く ず	木 く ず	繊 維 く ず	動 植 物 性 残 さ	ゴ ム く ず	金 属 く ず	ガ ラ ス く ず	が れ き 類						
福岡県	中間処理(選別)	2016年10月20日～ 2021年10月19日	第04020132198号	●	●	●	●			●	●	●	●					
	処理能力(t/8時間)			17t	17t	17t	17t			17t	17t	17t	17t					
	中間処理(圧縮)			●	●		●				●							
	処理能力(t/8時間)			3.05t	1.96t		4.49t				1.54t							

7) 施設等の状況(運搬車両の種類と台数)

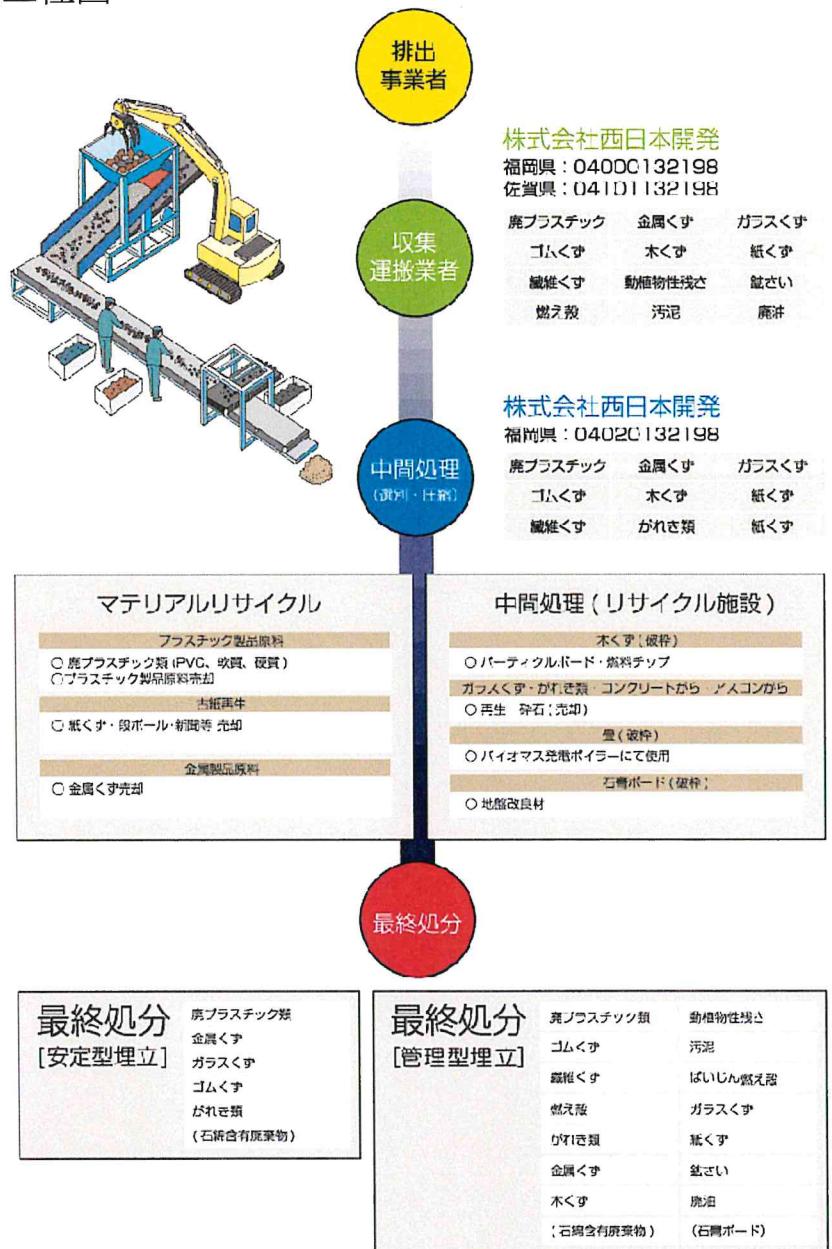
<収集運搬車両>

- 4tクラム付きトラック(三菱) :1台
- 4t脱着式ダンプ(日野) :2台
- 4t脱着式ダンプ(日産) :1台
- 2t脱着式ダンプ(三菱) :2台
- 2tユニック車(いすゞ) :2台
- 軽トラック(スズキ) :1台

<中間処理施設>

- 4t脱着装置付コンテナボックス :29台
- 2t脱着装置付コンテナボックス :32台
- 油圧ショベル :2台
- フォークリフト :2台
- 振動ふるい機 :1台
- 手選別コンベア :1台
- 磁力選別機 :1台
- 縦型圧縮梱包機 :1台

8) 処理工程図



9) 処理実績

処理方法	廃棄物等種類	処理量(t)
(i) 収集運搬	混合廃棄物	1,865.86
	廃プラスチック類	1,372.41
	金属くず	2,043.10
	コンクリートがら	229.97
	木くず	1,424.62
	廃石膏ボード	343.48
	収集運搬量合計	7,279.44
処理方法	廃棄物等種類	処理量(t)
(i) 中間処理 (選別・圧縮)	ガラスくず	868.45
	金属くず	2,311.76
	コンクリートがら	245.67
	紙くず	886.07
	廃プラスチック	2,435.46
	がれき類	677.01
	木くず	1,870.32
中間処理量合計		9,655.92

2. 認証・登録の対象範囲

1) 対象事業所

本社

2) 対象活動

産業廃棄物の収集・運搬及び処分業



清掃活動



3. 環境経営方針

環境経営理念

私たち、株式会社 西日本開発は『love the earth』を経営理念として掲げ地球に優しい企業を目指し、人と自然が共生できる環境づくりに取り組んで参りました。

今、私たちは、こうした事業活動に伴うエネルギーや資材の使用が地域及び地球の環境に影響をあたえていることを十分に自覚し、全社をあげて環境問題に積極的に取り組み、持続可能な社会づくりに貢献して参ります。

環境行動指針

1. 当社の事業に関連する環境関連法規等を遵守します。
2. 当社は次の項目を重点項目として、環境活動を計画的に取組み実施します。
 - (1) 電力、燃料等のエネルギーの効率的な使用及び省エネに努め、二酸化炭素排出量を削減します。
 - (2) 受宅産業廃棄物のリサイクルを推進します。
 - (3) 廃棄物排出量の削減及び3Rを推進します。(Reduce・Reuse・Recycle)
 - (4) 節水に努め、水使用量を削減します。
 - (5) グリーン購入に努めます。
 - (6) 地域の環境補全活動には積極的に参加します。
- 3.当社の毎年の環境への取組み状況を環境経営レポートにとりまとめ、全社員に周知させ一般にも公表します。

制定日 2020年5月1日

株式会社 西日本開
代表取締役 岩瀬 敦

4. 環 境 目 標

・当社の事業活動による地域及び地球環境への影響の最小化と、地域社会の環境を良くする取組を含めて、2019年度は以下の6項目14目標を環境目標として設定しました。

項 目	単位	基準年	目標値		
			2018年度	2019年度	2020年度
		(2017年9月～2018年8月)	(2018年9月～2019年8月)	(2019年9月～2020年8月)	(2020年9月～2021年8月)
1. 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	101,766	100,758 (1%削減)	99,770 (2%削減)	98,801 (3%削減)
① 電気使用量の削減	kWh(電灯)	9,277	9,185 (1%削減)	9,095 (2%削減)	9,006 (3%削減)
	kWh(電力)	1,663	1,646 (1%削減)	1,630 (2%削減)	1,614 (3%削減)
	ℓ	2,490	2,465 (1%削減)	2,441 (2%削減)	2,417 (3%削減)
② ガソリン使用量の削減	ℓ	34,446	34,104 (1%削減)	33,770 (2%削減)	33,442 (3%削減)
2. 廃棄物排出量の削減					
①一般廃棄物のリサイクル量増加	kg	213	215 (1%増加)	217 (2%増加)	219 (3%増加)
②一般廃棄物排出量の削減	kg	29	28.7 (1%削減)	28.4 (2%削減)	28.1 (3%削減)
③受託した産業廃棄物のリサイクル率の維持	%	95	95	95	95
3. 水使用量の削減	m ³	67	66.3 (1%削減)	65.6 (2%削減)	65 (3%削減)
4. グリーン購入の推進	品数	12	13	14	15
5. 車両の燃費向上					
①収集運搬車両の燃費向上	km/ℓ	5.24	5.29 (1%増加)	5.34 (2%増加)	5.39 (3%増加)
②構内作業車両の燃費向上	h/ℓ	2.63	2.65 (1%増加)	2.68 (2%増加)	2.7 (3%増加)
6. 地域貢献活動の推進					
①地域行事への参加	回 (行事)	1	1	1	1
②地域清掃の励行	回 (清掃)	12	12	12	12

備考)

1. 基準年の2018年度実績に基づき()の増減率を乗じて数値目標を策定した。
2. 二酸化炭素排出量の計算で使用した購入電力の排出係数は、0.509kg-CO₂/kWh(九州電力(株)2015年度実排出係数)を使用した。
3. 化学物質は事業活動で使用していないので、環境目標から除外した。

5. 環境目標の実績

- ・2019年度における環境への取組による環境目標達成状況は、以下のとおりです。
- ・設定した6項目14目標のうち、3項目5目標で環境目標を達成できました。
- ・当社の最大の環境負荷となっている二酸化炭素排出量は、目標達成率が94%でわずかに目標達成とはいきませんでした。これは基準年とした2018年度から比べて、増員、増車があつたため、前年度と違い現状にあつた目標値になっている。
- ・今後は社員一丸となって意識を高めて取り組んでいけば目標に到達できそうだ。

項目	単位	基準年	2019年度(2019年9月～2020年8月)			
		2017年度実績	目標値	実績値	目標達成率	目標達成の判定
1. 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	101,766	99,770 (2%削減)	121,111	82%	△
① 電気使用量の削減	kWh	9,277	10,728 (2%削減)	13,305	81%	△
	-	-	-	-	-	-
	② ガソリン使用量の削減	ℓ	2,490	2,441 (2%削減)	1,164	210%
③ 軽油使用量の削減	ℓ	34,446	33,770 (2%削減)	43,361	78%	△
2. 廃棄物排出量の削減						
①一般廃棄物のリサイクル量増加	kg	213	217 (2%増加)	119	55%	×
②一般廃棄物排出量の削減	kg	29	28.4 (2%増加)	48.7	58%	×
③受託した産業廃棄物のリサイクル率の維持	%	95	95	99	104%	○
3. 水使用量の削減	m ³	67	65.6 (2%削減)	309.9	21%	×
4. グリーン購入の推進	品数	12	14	18	129%	◎
5. 車両の燃費向上						
①収集運搬車両の燃費向	km/ℓ	5.24	5.34 (2%増加)	5.1	96%	△
②構内作業車の燃費向上	h/ℓ	2.63	2.68 (2%増加)	3.7	138%	◎
6. 地域貢献活動の推進						
①地域行事への参加	回 (行事)	1	3	1	33%	×
②地域清掃の励行	回 (清掃)	12	12	12	100%	○

6. 環境活動計画及びその取組結果とその評価、次年度の取組内容

環境活動計画		実施状況	評価及び次年度の取組内容		
1. 二酸化炭素排出量の削減					
① 電気使用量の削減	エアコン設定温度を決め、実行する	○	全体的にはしっかりと意識できている。新入社員も入ってきたので日頃から意識できるように今後も指導していく必要がある。		
	昼休み中稼働時間以外の照明を消す	○			
	OA機器の省電力設定	○			
② ガソリン使用量の削減	ふんわりアクセルの徹底	○	運転の仕方も意識しなくても自然と身についてきている。		
	タイヤの空気圧のチェック	○			
③ 軽油使用量の削減	ふんわりアクセルの徹底	○	しっかりと意識的にやってくれているドライバーもいるが、なかには指導が必要なドライバーもいる。まだまだ改善の余地がありそうだ。		
	タイヤの空気圧のチェック	○			
2. 廃棄物排出量の削減					
① 一般廃棄物排出量のリサイクル量の増加	排出量の把握	○	徹底してやれている。		
	分別の徹底	◎			
② 一般廃棄物排出量の削減	コピー用紙の裏紙使用	◎	徹底してやれている。		
	ペーパーレスの徹底	○			
③ 受託した産業廃棄物のリサイクル率の維持	排出事業者に分別指導	◎	徹底してやれている。		
	選別の細分化・リサイクル率の維持	○			
3. 水使用量の削減					
① 水使用量の削減	洗い物の時はこまめに水を止めて洗う	○	徹底してやれているが、前年度よりも仕事上水を使用しなければならなくなったので、目標を訂正する必要がある。		
	車両の洗車の回数を減らす(極力バケツ使用)	○			
4. グリーン購入の推進					
① グリーン購入の推進	エコマーク商品を購入	○	低コストなものにばかり目が行きがちなので、グリーン商品との比較もけんどうしながら購入する。		
	ISO若しくはEA21取得業者から購入	○			
5. 車両の燃費向上					
① 収集運搬車両の燃費向上	回収ルートの効率化	△	日常点検の取り組みはしっかりとできている。ルートの効率化に関しては常にミーティングで確認していくようにしたい。		
	日常点検・定期点検の実施	○			
② 構内作業車両の燃費向上	日常点検・定期点検の実施	◎	日常点検はしっかりとできている。高回転での作業は極力使わないように指導している。		
	作業時に必要以上に回転数を上げない	○			
6. 地域貢献活動の推進					
① 地域行事への参加	町内行事に積極的に参加する	○	清掃活動はみんなが積極的に取り組んでいる。		
② 地域清掃の励行	定期的に会社周辺の清掃活動	◎			

備考) 実施状況の判定区分 ◎:よく実施できた ○:実施できた △:十分とは言えなかった ×:不十分であった -:判定不可

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無

- ・当社の事業活動に適用される主な環境関連法規等は、以下のとおりです。
- ・2019年度事業活動終了後に法令遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。
- ・また、関係機関等からの指摘の指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間ありませんでした。

適用される法規等	適用される事項(施設・物質・活動等)	評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃掃法)	産業廃棄物の収集運搬事業、中間処理事業	○
自動車リサイクル法	収集運搬車両・営業車	-
家電リサイクル法	事務所内家電製品(テレビ・冷蔵庫・エアコン・洗濯機)	-
オフロード法	重機・フォークリフト	○
フロン排出抑制法	事務所内エアコン	○

備考) 遵守評価区分 ○:遵守、×:不遵守、-:該当なし

8. 代表者による取組状況の全体評価と見直しの結果

1) 取組状況の全体評価

2020年度を振り返ってみて、委員会を開催して目標と実績をしっかりと分析することが大事だと感じた。取組状況に関しては、全社員が積極的に取り組めている。
新入社員も入ってるので全体的な教育が大事だと感じた。

2) 計画の見直し結果

増車・増員のため計画や目標の見直しが必要だ。
定期的な委員会の開催とは別に、グループごとのミーティングも必要性を感じた。そういった中で社員にフィードバックさせていくことで意識もさらに高まっていくよう思う。
エコアクション21に対するプランをしっかり確立させ、実行・評価・改善を行い、来期こそは目標達成に向けて全社員で取り組みたい。

和暦・西暦 早見表

和暦	西暦
昭和10年	1935年
昭和11年	1936年
昭和12年	1937年
昭和13年	1938年
昭和14年	1939年
昭和15年	1940年
昭和16年	1941年
昭和17年	1942年
昭和18年	1943年
昭和19年	1944年
昭和20年	1945年
昭和21年	1946年
昭和22年	1947年
昭和23年	1948年
昭和24年	1949年
昭和25年	1950年
昭和26年	1951年
昭和27年	1952年
昭和28年	1953年
昭和29年	1954年
昭和30年	1955年
昭和31年	1956年
昭和32年	1957年
昭和33年	1958年
昭和34年	1959年
昭和35年	1960年
昭和36年	1961年
昭和37年	1962年
昭和38年	1963年
昭和39年	1964年
昭和40年	1965年

和暦	西暦
昭和41年	1966年
昭和42年	1967年
昭和43年	1968年
昭和44年	1969年
昭和45年	1970年
昭和46年	1971年
昭和47年	1972年
昭和48年	1973年
昭和49年	1974年
昭和50年	1975年
昭和51年	1976年
昭和52年	1977年
昭和53年	1978年
昭和54年	1979年
昭和55年	1980年
昭和56年	1981年
昭和57年	1982年
昭和58年	1983年
昭和59年	1984年
昭和60年	1985年
昭和61年	1986年
昭和62年	1987年
昭和63年	1988年
昭和64年	1989年
平成元年	
平成2年	1990年
平成3年	1991年
平成4年	1992年
平成5年	1993年
平成6年	1994年
平成7年	1995年

和暦	西暦
平成8年	1996年
平成9年	1997年
平成10年	1998年
平成11年	1999年
平成12年	2000年
平成13年	2001年
平成14年	2002年
平成15年	2003年
平成16年	2004年
平成17年	2005年
平成18年	2006年
平成19年	2007年
平成20年	2008年
平成21年	2009年
平成22年	2010年
平成23年	2011年
平成24年	2012年
平成25年	2013年
平成26年	2014年
平成27年	2015年
平成28年	2016年
平成29年	2017年
平成30年	2018年
平成31年	2019年
令和元年	2020年
令和2年	
令和3年	2021年
令和4年	2022年
令和5年	2023年
令和6年	2024年